

第3回「東日本大震災」被災支援委員会報告

加藤 久幸 (委員会書記)

9月4日(火)第2回常置委員会の後、被災支援委員会が大宮教会で開催されました。

秋山議長より、教団救援対策本部会議(第15回:8月24日開催)の報告がありました。東北教区の会堂再建申請が出始めていること、対策本部の人事異動等の報告がありました。

議事では、教団救援対策本部等の支援の対応について協議しました(関連:「支援 News」No.41)。

①対策本部からの被災児童受入れに関する補助金について 埼玉県では公的補助も出ているのでそれを差し引いた額とすること、1園からは辞退の申し出があり、結果8幼稚園に合計1,145,750円を送金することを決定しました。なお、今後も幼稚園から申請があれば対応していきます。②対策本部からの教会関連幼稚園・保育園スタッフ宅被害のお見舞いについて 教区内から申請のあったものをまとめて教団に提出したことの報告を承認しました。③教団教育委員会からの指定献金の取り扱いについて 教団教育委員会から、被災幼児施設のためにという指定献金2,000,000円がありました。総額が200万円でもあり、被災したことを確認した幼児施設の全てに、お見舞い金として均等に配分することにしました。確認については、茨城・栃木・群馬の3地区は地区内の全ての幼児施設に、埼玉については該当すると想われる施設に、地区長が連絡確認することになりました。確認は9月10日(月)の週に行っていますので、確認の意味でお知らせをしておきます。

その他の議事として、④ボランティアの今後の派遣、⑤被災地間安ツアーの実施について協議しました。これについては今回のNewsに記事があります。ご覧下さいますように。ボランティアに関しては、7月の参加者の感想特集として「茨城地区だより」(号外版)が発行されました。また、「ハートフル遠野」の参加呼びかけ、8月大宮教会がエマオに食事作りに出かけた報告がありました。各々で分ちあひ、参加の参考になればと願っています。

次回委員会では、教会の建物支援、幼児施設支援について、協議する予定です。被災3教区連絡会の開催検討も継続審議となります。次回委員会は10月1日18時開催予定です。

最後に、委員会の前に行われた第2回常置委員会は、被災教会・伝道所の教区負担金減免について諮りました。これは、教団から通知のあった2012年度教区減免額3,466,000円について、教区としての対応を検討するものです。協議の結果、対象となる27教会・伝道所に公平に(減免率34.13%)減免することを決定しました。関連で、ご報告しておきます。

○会計報告

2012.8.31 現在 (単位円)

収入の部		支出の部	
献金(教区内)	11,425,773	支援活動費	2,861,731
献金(個人・団体・		教会支援費	6,446,471
学校・他教区・海外等)	11,981,548	支援委員会費	2,098,797
教団支援対策金	10,000,000	貸出金	6,847,250
教団教育委員会の		支出計	18,254,249
指定献金	2,000,000	残高	17,153,072
合計	35,407,321	合計	35,407,321

* 貸出金の内、益子・水戸自由ヶ丘教会より1,847,750円返済されました。

被災支援ボランティアへの参加をお待ちします

小林 祥人（支援委員、社会部委員長）

関東教区被災支援委員会では、この夏仙台・石巻で「被災者支援センター・エマオ」が展開するボランティアへの参加を呼びかけ、7月の後半には16人もの方々に参加していただくことができました。私たちはこれをぜひ継続的なものにしたいと願っています。

10月のボランティアは下記の日程です。夏休みが終わり、参加者が激減している時期です。多くの方々の参加をお待ちいたします。作業内容は「ニュース39号」でお伝えしたものとほぼ同じです。体力や体調に応じたワークが用意されています。またこの期間内に参加して下さる方には、申請により教区から交通費の補助がありますので、ご相談ください。

10月29日（月）～11月2日（金）

※現地では1名以上の代表者（小林／他）が同行します。

11・12月以降の予定については今後の「被災支援ニュース」をごらんください。

参加ご希望の方は、被災支援委員会・小林（連絡先は下記）までご連絡ください。皆さまの所属教会・伝道所宛てに申込みフォームをお送りします。必要事項に記入の上、返送して下さい。その後、出発までに何度か連絡をとらせていただきます。またボランティア保険への加入をお願いいたします（天災A型）。最寄りの社会福祉協議会にご相談ください。

エマオでは3日以上ワークへの参加が条件となっており、関東教区も原則的に全日程参加を呼びかけていますが、一日のみの参加も可能な場合がありますので、ご相談ください。

ワークそのものは早朝の開始です（7時45分集合）。関東教区内からの出発では前泊が必要になる場合があります。このことも考慮の上、計画を立ててください。

また、上記プログラムとは別に、夕食を作る調理ボランティアも募集しています。こちらは最低3人以上を1チームとして申込みして頂きます。教会内・地区・近隣教会などで人数をまとめ、皆さまのご希望の日を小林までお知らせください。調整いたします。作業は午後2～5時頃まで、内容は夕食の調理です。夕方のミーティング・シェアリングにも参加可能です（その場合は作業時間を繰り上げます）。

お問合せ 小林祥人（関東教区被災支援委員）

0297-72-3160（取手幼稚園）fax 0297-72-4917

090-3529-5140（携帯） Mail: mail@torideyochien.jp

速報

東日本大震災被災地被災教会で祈りを合わせる旅

日程：11月20日（火）～22日（木）

訪問先：会津放射能情報センター（新潟発着のみ）、新生釜石教会、大船渡教会、陸前高田市、気仙沼市、石巻市、石巻YMCA支援センター、仙台エマオ
※大宮発の場合、郡山駅で合流し、仙台駅で解散します。

参加費：29,800円（集合解散場所までの交通費は含まれません）

募集人数：24名（最少催行人数15名）

団 長：秋山徹関東教区総会議長（上尾合同）

申込先：十日町教会（新井純）

申込締切：10月22日（月） 但し定員になりしだい締め切り